

◆組手試合規定◆

試合時間

★本戦

1分30秒	幼年・小学生・中学生・高校一般女子・シニア
2分	高校生男子・一般初級・一般上級

★延長戦は1分（絶対判定）

勝敗・・・1本勝ち・判定勝ち・相手の反則なし、失格により勝ちが決定される。

- ◎1本勝ち…○反則箇所を除く部分へ有効技を決め、相手を3秒以上ダウンさせた場合。
○「技有り」2回で1本勝ちとする。
- ◎技有り…○反則箇所を除く部分へ有効技を決めそのダメージにより一時的に動きが止まった時、またはダメージにより一時的に倒れた場合。
- ◎判定…○1本勝ちの決まらないときは判定とし、判定で引き分けの場合は延長戦を行う。
●判定基準は①技有りの有無②減点の有無③ダメージの度合い④有効技の多少⑤技術の違い⑥注意の多少⑦気迫等により決定する。
●延長戦は予選1回、決勝戦は2回を限度とする。（絶対判定）
- ◎判定法…主審1名、副審2名の合計3人のうち過半数以上の旗が揚がった方を勝ちとする。

反則

- 手技による首、頭部、顔面への攻撃。（顔面への軌道のあるパンチは最初は口頭注意とする。）
- 女子及び中学生以下は顔面へのヒザ蹴り・回転胴回し蹴り・下腹部（帯から股間まで）への攻撃。
- 頭突き・股間への攻撃。
- 背面の上段中段への攻撃。（下段は有効。）背面からの攻撃。
- 片方が倒れた時の双方からの攻撃。
- 身体・空手衣のつかみ、ひっかけ。
- 体当たりや手押しで押した場合。また身体を密着させて相手の動きを封じた時。
※双方密着状態の試合は分け、頻度によっては反則とする。
- 特に戦意喪失の場合は、事故防止のため負けとする。
- ◎審判団の判断により特に悪質な反則や試合態度とみなされたときには反則負けとする。
- ◎反則は注意2回で減点1。3回で失格とする。
- ◎選手側の応援者が審判団や相手側の選手に対し中傷又は罵声、暴言等を浴びせたりした場合、応援側の選手を減点又は失格とする。
※特にダメージを与える反則は審判旗の数よりも審判団の協議を優先する。

失格

- ①注意3回を重ねた時。
- ②戦意喪失の場合
- ③試合中審判の指示に従わない時。
- ④自分の順番が回ってきたとき、各コーナーに控えていない時。
- ⑤装着義務防具を付けていない場合。

防具

（○・×は義務） ヘッドガードは着用しません。

クラス	防具	スネサポ	拳サポ	ひざサポ	ファールカップ	胸当て
幼年		○	×	自由	自由	×
小学生男子		○	×	自由	○	×
小学生女子・中学生女子・高校一般女子		○	×	自由	自由	自由
中学生男子・高校生男子・シニア 一般初級・一般上級		×	×	×	○	×

※サポーターは布製の物とする。胸当ては布製で胸のみのガードの物とする。

◆表彰規定◆

- 各クラスそれぞれ優勝1名・準優勝1名・3位2名を表彰する。
- 入賞資格は最低1勝を条件とする。7名以下のクラスは優勝、準優勝のみとする。
- 3名以下のクラスは優勝のみとする。